

平成31年2月12日

小学生の絵で「銭湯展覧会」をやろう！ ～東京薬科大学の学生提案が実現！～

市内には現在公衆浴場が3軒残っていますが、自家風呂の普及により利用客は減少しています。一方で、昔ながらの銭湯が残っていることは八王子の大事な地域資源であり、さらに、銭湯は多世代交流や地域コミュニティの場、災害時のライフラインとして重要な役割を担っています。

そんな銭湯を活性化させるために、東京薬科大学（以下「薬科大」という。）1年生が、生命科学部の授業（産学連携FSP講座）で公衆浴場振興策を検討。そのうち1グループ（全12グループ）の提案「小学生の絵で『銭湯展覧会』をやろう！」に八王子浴場組合が賛同し、今回実施の運びとなりました。

記

1 企画内容

- (1) 市内小学生に銭湯に関心をもってもらい、銭湯に行ってもらおう。
- (2) 小学生に銭湯の思い出を絵で描いてもらい、各銭湯に展示する「銭湯展覧会」を開催する。
- (3) 絵を見に家族で銭湯に足を運んでもらい、銭湯のリピーターになってもらうことで公衆浴場振興につなげていく。

2 「銭湯展覧会」会場・展示数・期間

【会場】稲荷湯（子安町1-27-20）、福の湯（本町3-6）、松の湯（小門町20）

【展示数】45枚（稲荷湯7枚、福の湯10枚、松の湯28枚）

【期間】平成31年2月15日(金)～3月31日(日) の銭湯営業日・営業時間

3 その他

- (1) 平成31年2月13日(水)の午前中に、提案した薬科大学学生グループが各銭湯で絵の展示作業を行う予定です。
- (2) 本市と薬科大は、平成27年12月24日に「八王子市と東京薬科大学との包括連携に関する協定書」を締結しています。

<問い合わせ>福祉部福祉政策課
課長 井上 茂
電話042-620-7454

